

日刊建設工業新聞（2016年10月4日付3面掲載）
**【オリコンサル柏市と共同事業 危険箇所改善提案も
 車両走行データを防犯活用】**

車両走行データを防犯活用

オリコンサル 柏市と共同事業 危険箇所改善提案も

オリエンタルコンサル
 タンツは千葉県柏市と共
 同で10月、「新交通安全・
 防犯対策プロジェクト」
 を開始させる。柏市で取
 り組んでいる交通安全に
 関する実証実験「柏市交
 通安全プロジェクト」
 （実施期間14年11月～
 16年3月）の一環として
 実施する。車に搭載した
 ドライブレコーダーの動
 画データを活用し、新た

な防犯対策を実行。イン
 フラの危険箇所の発見と
 改善提案の強化にもつな
 げる。

使ったドライバーへの個
 別指導をはじめ、ドライ
 ブレコーダーの急減速デ
 ータを活用したドライバ
 ー向けの安全運転教育
 や、インフラの改善策
 （植栽のせん定、カーブ
 ミラーの設置など）の提
 案を実施。ドライブレコ
 ーダーで収集したマナー
 違反の映像を活用した安
 全教育の教材の作成など
 も行っている。

同社は、14年11月から
 柏市交通安全プロジェクトとして、ドライブレ
 コーダーを搭載した公用車
 の走行データを活用し、
 事故発生を未然に防止す
 る社会実験を行ってき
 た。これまでの成果とし
 て、運転診断レポートを

10月に始める新たなプ
 ロジェクトでは、ドライ
 ブレコーダーを「動く防
 犯カメラ」と捉え、新た
 に防犯対策に活用する。

頼に対応し、走行動画を
 常時記録しているドライ
 ブレコーダーのデータを使
 って安全・安心なまちづ
 くりへの貢献を目指す。
 収集データの分析による
 インフラ危険箇所の改善
 提案の活動も強化する。

10月に始める新たなプロジェクトでは、ドライブレコーダーを「動く防犯カメラ」と捉え、新たに防犯対策に活用する。頼に対応し、走行動画を常時記録しているドライブレコーダーのデータを使って安全・安心なまちづくりへの貢献を目指す。収集データの分析によるインフラ危険箇所の改善提案の活動も強化する。